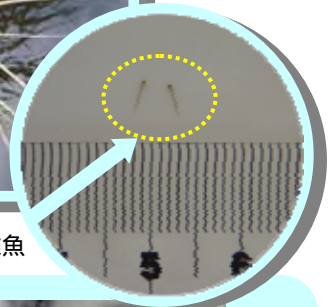
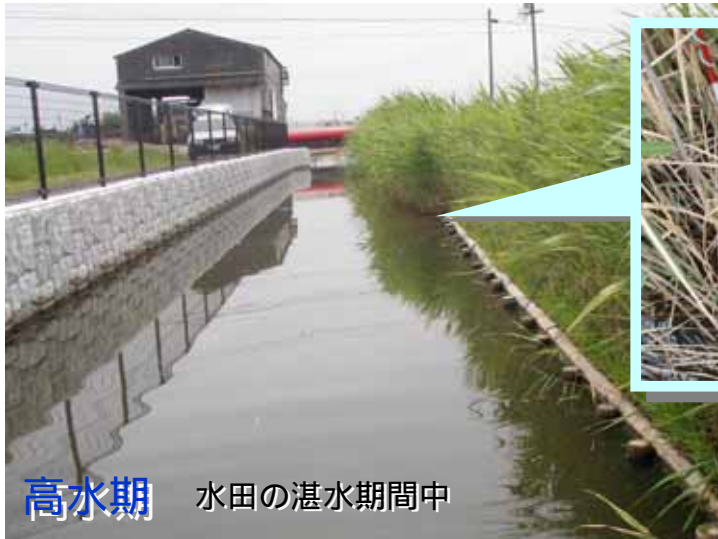


生態系を保全できる環境配慮工法で改修した水路



カワバタモロコ 3.5 ~ 6 cmの
コイ科の淡水魚。

尾張地方（犬山市、稲沢市、瀬戸市等）、三河地方（岡崎市等）の山沿いの農業用の溜め池や細流に生息します。

生息環境の変化やブラックバスなどの外来種の影響で生息数が減少しています。

環境省：絶滅危惧 B類

愛知県：絶滅危惧 類

絶滅危惧種であるカワバタモロコは、生息環境の変化の影響を受けやすいため、水路改修時には、多様な生息空間への配慮が必要です。

そこで、植栽帯部分を階段状にした護岸や、低水期に魚の避難場所となるワンド（よどみ）を組み合わせた環境配慮工

法により改修した水路の効果を検証しました。

水路改修後2年で、植栽帯にはヨシやマコモが繁茂し、水面を覆うようになりました。その結果、カワバタモロコの産卵と孵化が確認でき、環境配慮工法の有効性が実証されました。

（環境基盤研究部）